

平成27年第10回三浦市教育委員会定例会会議録

○日 時 平成27年10月26日（月） 午後3時00分～午後4時20分

○場 所 三浦市教育委員会教育委員室

○次 第

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 署名委員の指名

菊池 恵 委員、松尾 恒 廣 委員

4 教育長報告

(1) 10月の行事等について

(2) 平成28年度予算編成について

(3) 学校訪問について

5 報告事項

(1) 平成27年9月の後援名義等使用について

(2) 平成28年度予算編成方針について

6 その他の事業について

(1) 平成27年度 第37回市民スポーツ大会の結果について

(2) 第21回三浦市城ヶ島駅伝競走大会の開催について

(3) 三浦市指定重要無形民俗文化財 奉納 「海南神社の面神楽」の開催について

(4) 第51回三浦市青少年問題協議会地区大会講演会の開催結果について

(5) うどん祭りの開催について

(6) 三浦市社会教育講座「工芸講座」の開催について

(7) 三浦市社会教育講座「郷土の料理講座」の開催について

7 その他

8 閉 会

○出席委員（5名）

教 育 長	三 壁 伸 雄
教育長職務代理	菊 池 惠
委 員	曾 根 崇 子
委 員	松 尾 恒 廣
委 員	下 里 矩 生

○説明のために出席した職員

教 育 部 長	大 西 太	教 育 総 務 課 長	田 中 勉
学 校 教 育 課 長	五 十 嵐 徹	学 校 給 食 課 長	松 下 彰 夫
文 化 ス ポ ー ツ 課 長	下 田 学	南 下 浦 市 民 セ ン タ ー 館 長	小 川 史 郎
初 声 市 民 セ ン タ ー 館 長	見 上 正 行	青 少 年 教 育 課 長 兼 図 書 館 長	安 藤 宜 尚

○事務局出席者

教育総務課教育総務グループリーダー	長 島 正 紀
教育総務課主事	近 藤 民 子

○傍 聴（0名）

○三壁教育長 それでは、ただいまより平成27年第10回三浦市教育委員会定例会を開会いたします。

新制度になり、一回目の定例会ですので、一言ご挨拶をさせていただきます。

本年4月1日付で、地方教育行政法が改正され、本日、1回目の総合教育会議が設置されました。そして、教育大綱についても承認されました。また、10月1日付で教育長と教育委員長が一本化され、教育長がこの任に当たることとなります。

今日の総合教育会議で教育総務課長からも説明がありましたが、新教育委員会制度の4本柱の中に、教育長をしっかりと管理していくということと、会議の透明化ということがありましたが、三浦市は、まさに本日10月26日の定例会が、新しい制度での最初の会議となります。

他市町の状況についてお話しさせていただくと、鎌倉、逗子、葉山、横須賀では、総合教育会議が設置され、教育大綱についても策定した所と、今後2回目の総合教育会議で継続協議していく所があるようです。三浦市と一つ違うのは、経過措置ということで、教育長の任期中は教育委員長が引き続き在籍している市町が多いということです。そういった意味では、三浦市は変更すべき点を全て網羅して、新制度によって教育行政を行っていくことになりましたので、引き続き教育委員の皆さまにつきましては、ご協力、ご尽力をいただければと思います。また、説明員の皆さんも、併せてよろしくお願いたします。

では、まずはじめに前回会議録の承認を行います。

前回会議録の案につきましては、すでにお手元に送付してございますが、本案修正等に関するみなさまのご意見を頂戴したうえで、誤字脱字等の修正については教育長一任とすることについてご承認いただきたいと思います。

修正等のご意見があれば、ご発言をお願いします。

(発言等なし)

○三壁教育長 なければお諮りします。

前回会議録について、別添「平成27年第9回三浦市教育委員会定例会及び平成27年第2回教育委員会臨時会会議録」のとおりとすることについて、併せて、誤字脱字等の修正については教育長一任とすることについて、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○三壁教育長 ご異議ないようですので、前回定例会及び臨時会の会議録についてそのようにいたします。

本日の定例会の会議録署名委員に菊池委員と松尾委員を指名します。

○三壁教育長 それでは、次第4「教育長報告」について、私から何点かご報告します。

10月1日付で、下里教育委員が就任されました。例年10月は学校関係、社会教育関係ともに行事が多い月であり、今年も慌ただしい月だったと感じています。学校では、小学校の修

学旅行が無事に終了しています。また、中学校では駅伝競走大会、文化祭、合唱祭、学校へ行く週間が開催されました。特に、10月24日（土）については、三崎小学校で運動会、名向小学校では名向まつり、初声地区では初声小、初声中、臨海高校の合同でのふれあいコンサートがそれぞれ実施され、大変盛況であったと感じています。総じて子どもたちが大変積極的な姿勢であるということと、先生方が頑張っている様子、また、保護者や地域の皆さんが学校に対して応援してくださっているなということを感じました。

社会教育関係では、10月3日から青少年問題協議会が主催した地区大会が行われ、10月4日にはいなりっこ、11日には残念ながら雨で中止となりましたが、第37回市民スポーツ大会、15日は学校保健大会、18日は青少年姉妹都市国際交流派遣生の報告会がありました。報告会は例年ですと市長報告と実行委員会の報告との二段構えでしたが、派遣生の日程等もふまえて、一緒に報告会が開催されたということです。また、27日が菊名の飴屋踊り、これは菊池委員をはじめ、多くの関係者のご協力をいただいているとつぶさを感じました。

それから、教育長の関係ですが、10月15日に県都市教育長協議会臨時総会が厚木市で開催され、役員の変更がありました。会長市が秦野市、副会長市が三浦市ということになりました。三浦市は引き続き副会長ということになります。翌16日には県下市町村教育長会議が横浜市で開催されました。23日には三浦半島教育長会議ということで、横須賀、逗子、葉山、三浦の3市1町で情報交換を行いました。

次に、新年度の予算編成についてお話しします。10月に入って、校長会、市P連、三教組、三管組から、平成28年度の予算要望が市長、教育長に出されています。既に庁内でも予算編成方針が出されており、各課で予算の積み上げをしているところです。

最後に、教育委員の学校訪問については前回もお話ししましたが、日程調整を行う必要があるのと、毎年テーマを決めておりますので、皆さんのご意見を伺って、学校に連絡したいと思っています。後ほど調整をさせていただきますので、よろしくをお願いします。

以上で報告を終わります。ご質問等がありましたらお願いいたします。

○菊池教育長職務代理 質問ではありませんが、17日に中学校の駅伝競走大会があり、代理出席としてスターターをしてまいりました。

○三壁教育長 菊池職務代理には、お話しのとおり中学校駅伝大会にご出席いただき、冒頭のあいさつと、スターターをしていただきました。私は午後から防犯のつどいに出席する予定がありましたので、丁度良い機会と思い代理出席をお願いしたところです。

今後も年間を通して、教育委員会主催や、他の団体主催の様々な諸行事があります。これらの出席については、皆さんと相談してやっていけたらと思っています。

○三壁教育長 他にございませんか。

(発言等なし)

○三壁教育長 なければ、教育長報告を終了いたします。

○三壁教育長　それでは、次第5「報告事項」に入りたいと思います。

(1)平成27年9月の後援名義等使用について、報告をお願いします。

○田中教育総務課長　平成27年9月の後援名義等使用についてご報告します。

平成27年9月分につきましては、学校教育課関係で3件、文化スポーツ課関係で2件、合計5件の申請があり、いずれも承認をしているものです。それぞれの内容等で、ご質問があれば担当課よりご説明しますのでよろしくをお願いします。

報告は、以上です。

○三壁教育長　報告は終わりました。ご質問等がありましたらお願いします。

○菊池教育長職務代理　百人一首の神奈川県大会については、三浦市の方も参加されていますか。

○五十嵐学校教育課長　三崎小学校の教員がこの大会の担当をしており、子どもたちに声をかけているところまでは承知していますが、実際の参加状況については承知しておりません。

○三壁教育長　私から2点あります。1つは三浦半島学童保育研究集会について、三浦市放課後児童クラブ連絡協議会から直接申請されたものなのか、保健福祉部を通しての申請かを教えてください。

○五十嵐学校教育課長　協議会の会長から直接教育委員会に申請されたものです。

○三壁教育長　ありがとうございます。2点目は、第34回三浦国際市民マラソンについて、これまで教育委員長が実行委員となっていました。今後はどのようになるか分かりますか。

○下田文化スポーツ課長　この件についてはマラソン実行委員会事務局に確認をしています。今後は、事務局から教育委員会あてに、実行委員の選出を依頼したいという意向を確認しますので、今後はそのような依頼文が来るものと思います。

○三壁教育長　そうしますと、先ほど申し上げたように、教育長が実行委員ということでも、5人の教育委員の中から選出する可能性があるということをご承知おきいただきたいと思います。

○三壁教育長　他にございませんか。

(発言等なし)

○三壁教育長　次に、(2)平成28年度予算編成方針について、報告をお願いします。

○田中教育総務課長 平成28年度予算編成方針について報告します。

まず、本市の現状ですが、人口減少や土地価格の下落に歯止めがかからず、市の最重要課題とされる土地の売却や企業誘致に関しても、停滞状況を脱し得ない中、市税の減少、扶助費の増加など厳しい状況にあります。

平成28年度の財政見通しですが、歳入については市税に関して、市民税、固定資産税をはじめとして減少する見込みで、歳入の増額確保は難しい状況です。また、財政調整基金の現在高も減ってきているため、リスクを伴う繰入金も見込んでおりません。

歳出については、人件費や公債費、扶助費の増加が避けられず、現時点での財源不足額は約4億6千4百万円となっています。前年度に引き続き、全ての事業の廃止、休止、縮減などの大幅な見直しを求められています。

予算編成方針は、平成23年10月に公表した「三浦市緊急緊縮宣言の継続」に基づき、引き続き健全化に取り組む必要があるとされ、全ての事業について事業効果を見極め、事業の整理統合、縮減、休止、廃止の検討も含め、聖域なくゼロベースで見直すこととしています。

平成28年度の歳入見込額は115億4千5百万円であり、歳出見込額は義務的経費が93億8千1百万円で、構成比81.3%を占めています。経常経費は10億6千2百万円で構成比9.2%となっています。残りの11億2百万円が、実施計画事業費になりますが、現時点で実施計画事業費は15億6千6百万円を予定しており、財源不足が4億6千4百万円あり、厳しい予算編成であることは確実です。

以上で、報告を終わります。

○三壁教育長 報告は終わりました。

予算の積み上げ等については職員に任せていただいている状況とはいえ、教育費がどのようになるか、教育委員の皆さんも気になる部分であると思います。本来であれば、この報告の際に来年度の教育部予算の方針や、目玉となる事業についてお話しし、それをふまえてご質問をいただければと思うのですが、予算方針が出て間もない状況の中でそれも難しいと思いますので、どのようなご意見、ご質問等でも結構ですので、何かありましたらお願いします。

(発言等なし)

○三壁教育長 それでは、次第6「その他の事業について」に入りたいと思います。

(1)第37回市民スポーツ大会の結果について、(2)第21回三浦市城ヶ島駅伝競走大会の開催について及び(3)三浦市指定重要無形民俗文化財 奉納 海南神社の面神楽の開催について、以上は文化スポーツ課の事業になりますので一括で説明をお願いします。

○下田文化スポーツ課長 まず、第37回市民スポーツ大会の結果についてご報告します。本大会については、10月11日(日)に、三崎、南下浦、初声の3地区で実施を予定していましたが、天候不良のため中止となりました。

このスポーツ大会を実施するために、8月から各地区3回ずつ運営委員会を開催し、各地区の区長、子ども会指導者、青少年指導員、PTAの方々等にお集まりいただきました。この委員会の中で、参加人数が減少し、競技に参加する人数を地域から出すのは困難である、という

3地区共通の問題点が昨年度あたりから浮かび上がってきています。そこで、今年度は、大会終了後に各地区の反省会として、もう一度会議を開くことにしていました。結果的に大会は中止となりましたが、現在その反省会を開催しているところです。

次に、第21回三浦市城ヶ島駅伝競走大会の開催についてご説明します。この大会につきましては、三浦市陸上競技協会が主催し、三浦市と三浦市教育委員会の共催で実施されます。開催日は11月8日(日)です。開会式は8時10分、スタートは9時20分を予定しています。コースは5区間で、全9,357mです。参加申込については、一般の部が34チーム、女子の部が7チーム、中学生以下の部が9チーム、小学生の部が59チーム、小学生女子の部が21チームで、合計130チームの申込がありました。昨年度が127チームでしたので、少し増加が見られました。

次に、三浦市指定重要無形民俗文化財 奉納 海南神社の面神楽の開催についてご説明します。面神楽は昭和46年に市の重要無形民俗文化財に指定された三浦全土に伝わる郷土芸能で、日本の神話等を題材とした、江戸時代より伝承されているものです。一般には神代神楽、里神楽と呼ばれています。毎年11月初めの未(ひつじ)の日の翌日、翌々日の申(さる)、酉(とり)の両日の夜に、海南神社の神楽殿で面神楽が奉納されます。今年は未の日が11月3日となるため、面神楽は4日、5日に行われます。

以上で説明を終わります。

○三壁教育長 説明は終わりました。ご質問等がありましたらお願いいたします。

○三壁教育長 市民スポーツ大会については、雨で中止となり、反省会だけ行うことになりました。聞くところによると、今回の反省会では、来年度以降、大会を存続させるかどうかという所まで議論が進んでいるようですが、大会運営委員会と教育委員会が共催で行っている状況でありながら、教育委員会が主体となって判断する義務を課されているように思えます。そうではなく、地域の皆さんが主体となって行っていただくものであると思っています。

大会を今後やるかどうかは、予算編成の関係もありますので、年内には決めなくてはならないと思います。今回の反省会が終わった時点で、今後の予定について文化スポーツ課長はどのように考えていますか。

○下田文化スポーツ課長 三崎と南下浦地区の反省会は終わっており、初声地区も本日も行われる予定です。三崎と南下浦地区については、担当として、想像以上に厳しいご意見をいただいています。参加人数が減っており、競技に出る人がいない中、なぜこれまでと同じように大会を運営しているのか。また、自分の地区からは参加しない、協力できないといった意見が出ています。このような中で、仮に市民スポーツ大会を続けるとしても、今までと同じようにはできないと考えています。

○三壁教育長 今日、初声地区の反省会をしてみて、3地区の反省会が終わったところで、区長会を開催していただくのが良いと思います。その結果を教育委員会に出していただくというスタンスでなければ、教育委員会だけが主体になってしまいます。区民の皆さんの意見は大事ですので、そのようにしていただけたらと思います。

○大西教育部長 先ほど下田文化スポーツ課長から答弁がありました。反省会では厳しいご意見をいただいております。3地区の反省会が終わった時点で、一度教育長と内容を詰めさせていただきたいと思っております。現在は実行委員会方式をとっていますので、教育委員会が主催のように思っている方もいらっしゃると思いますが、運営している実行委員会の会長は区長さんですので、それぞれの方にどのようにご説明するかについて、少しお時間をいただき、調整していきたいと思っております。

○三壁教育長 市民の健康や体力づくりが叫ばれている状況の中で、参加できないという方がいたとしても、継続して実施していくのか、そのあたりは区長ともよく話をしなければならぬと思っていますので、調整をお願いします。

なお、昔は各団体から代表して大会に出ていましたが、途中から区長会を巻き込んで、3地区の区長会長がそれぞれの地区の運営委員長となり、区長が運営委員会に参加するようになりました。そうすると、区長さん方の責任が重いという状況はあります。以前は青少年指導員、子ども会、母親クラブ、地域婦人会など色々な団体からプログラムに出ていたものが、現在は区長が人集めをしながら参加しているという状況が、重荷になってきているのかなと感じています。いずれにしても、調整をしながらやっていかななくてはならないと思っております。

○松尾委員 市民スポーツ大会に関わらず、近隣他市でも健康づくりのためのイベント等を行っていると思っておりますが、近隣他市の状況については把握されていますか。

○下田文化スポーツ課長 例えば横須賀市では、体育の日に横須賀アリーナ等の体育施設で、参加型の「スポーツフェスタ」というイベントを行っています。例えば、横須賀アリーナのメインアリーナを何区画かに区切って、一つは体操を、一つはレクリエーションをというように、会場内で色々なイベントを行い、市民の参加を呼び掛けているとのこと。

○松尾委員 市民スポーツ大会のような形で言うと、横須賀市では「健民運動会」というものがあり、例えば北下浦地区、野比地区といった地区ごとに運動会を開催しているという話を聞いているのですが、その中では、地区に体育振興会のような組織があり、そこで大会を運営し、景品を配っていると聞いていますが、三浦市の場合、こういう方式では無理なのでしょうか。

○三壁教育長 三浦市の場合、行政側である文化スポーツ課の担当が、運営委員会の案内を出しています。共催ですので問題はないのですが、横須賀市の場合には、市から補助は出ていると思っておりますが、各地域が自分たちで案を持ち寄って委員会で検討しています。これは、現在の三浦市では難しいと思っております。

先ほど出た、参加型のスポーツイベントについては、行政が主催しているものですか。

○下田文化スポーツ課長 横須賀市教育委員会が主催しています。

○三壁教育長 今後、市民スポーツ大会の実施が難しくなった場合には、行政として、そのような参加型のイベントを実施していくなど、体育の日が制定されているわけですから、何か考

えながらやっていかななくてはならないと思います。まずは市民スポーツ大会の存続について、引き続き対応をよろしくお願いします。

○三壁教育長 20、30年前までは、東岡、小網代、城ヶ島と、それぞれの区が運動会をしていました。一方で3地区のスポーツ大会も行っていたため、各区の運動会は無くなり、市民スポーツ大会に一本化されていった経緯があります。しかし、地区の役員さんも変わっていく中で、市民スポーツ大会についても大変だという意見が多くなってきてしまいました。

また、先ほどのミニバレーボール大会については、教育委員会は離れましたが、ミニバレーボール連合が大会を引継ぎました。そういう形が取ればいいのですが、区については難しそうだと感じてはいます。

○三壁教育長 他にございませんか。

(発言等なし)

○三壁教育長 引続きまして、(4)第51回三浦市青少年問題協議会地区大会講演会の開催結果について及び(5)うどん祭りの開催について、以上は、青少年教育課の事業になりますので一括で説明をお願いします。

○安藤青少年教育課長兼図書館長 第51回三浦市青少年問題協議会地区大会講演会の開催結果についてご説明します。この講演会は、青少年の健全育成に関して市民の皆さんと共に考える場として、三浦市青少年問題協議会と三浦市の主催で開催するもので、今年度は10月3日(土)に初声市民センター講堂にて開催しました。今回は講師にNPO法人子どもと生活文化協会顧問の和田重宏氏を招き、「子どもは人のつながりの中で育つ～地域で大人ができること～」をテーマに講演をいただきました。

当日の参加者は75名で、そのうち約半数が子ども会指導者関係の方であり、小中学生の保護者の関心の高さがうかがえました。参加者からの感想を抜粋し、資料に載せておりますのでご確認ください。

次に、うどん祭りの開催について説明します。本事業は、野外調理によるうどん作り体験を通して青少年の協調性やコミュニケーション能力を育むとともに、青少年指導員と子ども会との相互連携により、地域に根差した活動の拡充を図ることを目的として、三浦市青少年指導員連絡協議会の主催で開催します。日時は11月23日(月)10時、場所は神奈川県立YMC A三浦ふれあいの村野外炊事場で行います。対象は、市内在住の幼児～中学生とその保護者で、先着順で100名を募集します。

以上で説明を終わりますが、この場をお借りして、11月15日開催の三浦市民まつりにおける青少年教育課関連の催しについてもご案内します。まず、野外会場では、青少年指導員によるフリーマーケットや子どもとの交流コーナーを行います。また、青少年問題協議会による青少年の非行防止、有害環境からの保護を目的とした普及活動を行います。アリーナ内では、青少年国際交流派遣団によるウォーナンブル市への派遣期間の活動内容のパネル展示、また、

子ども会指導者連絡協議会の協力で、三浦ジュニアリーダーズクラブによるレクリエーションゲームの実演、以上4つの催しを市民まつりにおいて実施します。

青少年教育課からの報告は以上です。

○三壁教育長 説明は終わりました。なお、市民まつりに関しての追加報告については、許可を得て行うようにしてください。では、まずは(4)及び(5)の報告について、ご質問等がありましたらお願いいたします。

○菊池教育長職務代理 うどん祭りは何回目の開催ですか。また、定員が100名となっていますが、過去数年はどのような参加状況でしょうか。

○安藤青少年教育課長兼図書館長 開催回数については手元に資料がありませんでしたので、調べて後ほどお答えします。参加状況については、昨年も100名の定員でしたが、ほぼ100名の参加があり、これに青少年指導員等も含めると、120名程度での実施となりました。

○曾根委員 去年も記載があったか定かでないのですが、うどん祭りの案内の「服装等」の所に爪やマニキュアへの注意書きがあり、時代を反映していると思うのですが、これは前年度に問題があったために記載されているのでしょうか。また、材料として卵を使用することにも触れており、細かく注意書きがされているなどと思います。

○安藤青少年教育課長兼図書館長 爪に関する記載は昨年度も行っております。このような記載を行うようになった経緯としては、須坂市への派遣の際に、そば打ちを行うのですが、その時に、爪が長い等の理由でそば打ちができないケースが何度かありました。今回も食材を扱うという点で同じですので、このような注意書きを付けて募集をしているものです。

○三壁教育長 他にございませんか。では、追加説明部分について、ご質問等がありましたらお願いいたします。

○曾根委員 私の関係する団体が市民まつりに参加し、初声市民センター敷地で飲食関係の出店をします。去年までは机の貸出しがあったようなのですが、今年は貸出しがないと伺いました。何か理由があるのでしょうか。

○三壁教育長 このご質問については、市民まつりの担当部署は教育委員会ではありませんが、初声市民センター館長の分かる範囲で回答をお願いします。

○見上初声市民センター館長 机の貸出しを中止した理由については把握しておりません。ただし、センターにある机や椅子を処分し、貸し出せるものが無くなったということはありませんし、貸出しの中止をセンターから申し出たものでもありませんので、どのような理由かについては私の方で確認をさせていただきます。

○三壁教育長 他にございませんか。

(発言等なし)

○三壁教育長 引続きまして、(6)三浦市社会教育講座「工芸講座」の開催について、説明をお願いします。

○小川南下浦市民センター館長 三浦市社会教育講座「工芸講座」の開催について説明します。作って遊ぼうお手玉講座として、11月28日(土)10時から15時まで、日本のお手玉の会理事の中山順子氏を講師に迎え、小学校5年生以上を対象に講座を開催します。

お手玉はヨーロッパでは紀元前からの遊びであり、日本には奈良時代に中国から伝わったそうです。現在は4種類の形があり、布袋にあずきや貝殻等を入れたものが日本の伝統的なお手玉とされています。当日は世界各国のお手玉を講師が持参し、お手玉の歴史等も学びながらお手玉を作成し、午後は遊び方を学びます。

以上で説明を終わります。

○三壁教育長 説明は終わりました。ご質問等がありましたらお願いいたします。

(発言等なし)

○三壁教育長 引続きまして、(7)三浦市社会教育講座「郷土の料理講座」の開催について、説明をお願いします。

○見上初声市民センター館長 三浦市社会教育講座「郷土の料理講座」の開催についてご説明します。三浦大根を使ったステーキやご飯等の作り方を学ぶことにより、郷土の豊かな食材を見直し、美味しく、楽しい豊かな食生活の普及を図ります。開催日時は12月11日(金)10時から13時までで、料理したものを参加者で食べてから解散となります。講師は県認定ふさと生活技術指導士の吉田和子氏です。当日は講師の畑で作った三浦大根を使用し、材料費として700円をいただきます。本講座については三浦市民11月号、市ホームページ及びタウンニュースにて周知します。申込は11月20日までで、定員の20名を超えた場合は抽選となります。

以上で説明を終わります。

○三壁教育長 説明は終わりました。ご質問等がありましたらお願いいたします。

○菊池教育長職務代理 三浦大根の講座は何回もされていると思うのですが、好評なのでしょうか。

○見上初声市民センター館長 昨年この時期に、今回と同じ吉田先生による講座を開催しましたが、昨年は先着順で行い、定員に達しています。今年度は抽選で行います。

○三壁教育長 他にございませんか。

(発言等なし)

○三壁教育長 それでは、次第7「その他」に入りたいと思います。何かありましたらお願いいたします。

○三壁教育長 各委員より総合教育会議の感想等をいただけたらと思っておりましたが、今日行ったばかりですので、一度持ち帰っていただいて、11月の定例会の中で時間を取って、委員の皆さんそれぞれの感想を伺えればと思っておりますので、よろしく申し上げます。

○田中教育総務課長 前回もお話ししました学校訪問についてですが、日程については11月10日午前中、12日終日、20日午前中をお願いしたいと思います。

○三壁教育長 他にございませんか。

(発言等なし)

○三壁教育長 ないようですので、その他を終了します。

○三壁教育長 これをもちまして、平成27年第10回三浦市教育委員会定例会を閉会いたします。

ご協力ありがとうございました。

◇ 午後4時20分 閉会 ◇